



平成27年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月3日

上場会社名 株式会社イズミ 上場取引所 東
 コード番号 8273 URL <http://www.izumi.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山西 泰明
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務経理部長 (氏名) 川西 正身 (TEL) 082(264)3211
 四半期報告書提出予定日 平成26年7月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第1四半期の連結業績 (平成26年3月1日～平成26年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第1四半期	140,481	4.4	6,709	△6.6	6,784	△3.1	4,097	△1.4
26年2月期第1四半期	134,506	5.0	7,184	13.1	7,000	14.3	4,157	11.8

(注) 包括利益 27年2月期第1四半期 4,181百万円(△5.9%) 26年2月期第1四半期 4,442百万円(25.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第1四半期	57.03	—
26年2月期第1四半期	55.71	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年2月期第1四半期	406,022	132,651	30.2
26年2月期	397,071	130,178	30.3

(参考) 自己資本 27年2月期第1四半期 122,743百万円 26年2月期 120,211百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	20.00	—	23.00	43.00
27年2月期	—	—	—	—	—
27年2月期(予想)	—	23.00	—	23.00	46.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年2月期の連結業績予想 (平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	281,400	3.3	13,600	△7.1	13,200	△7.3	8,100	△11.7	112.72
通期	580,000	4.2	31,100	6.9	30,100	5.8	17,500	0.7	243.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年2月期1Q	78,861,920株	26年2月期	78,861,920株
② 期末自己株式数	27年2月期1Q	7,004,893株	26年2月期	7,004,785株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年2月期1Q	71,857,100株	26年2月期1Q	74,631,304株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表の四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料6ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	6
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	7
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	7
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	7
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	7
3. 四半期連結財務諸表	8
(1) 四半期連結貸借対照表	8
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	13
(セグメント情報等)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期におけるわが国経済は、輸出企業を中心に企業業績は好転し景気は緩やかな回復基調をもって推移しました。一方、小売業においては、消費税率引き上げに伴う駆け込み消費及びその後の反動により、個人消費は弱含んで推移しました。

当社グループにおいては、前年度の過去最高益更新に続き、お客様の満足を追求し、企業として更なる成長を遂げるべく、実行方針である“お客様のために尽くす”のもと、競争力ある品揃えの拡充に努めるとともに、売場への付加価値を付け続ける取り組みを推し進めました。

店舗面では、旗艦店である「ゆめタウン広島（広島市南区）」で最大規模のリニューアルを行うなど、既存店の活性化を積極的に実施するとともに、小商圏型店舗「ゆめマート松橋（熊本県宇城市）」を1店舗新設し、出店エリアのドミナント化を一段と進展させました。

また、3月には株式会社スーパー大栄（福岡県北九州市）との資本業務提携に基づき同社の実施する第三者割当増資の引受けを行い、双方の地域に根差した品揃えのノウハウの共有を進めるとともにスケールメリットを生かした業務効率の改善に取り組みました。

これらの結果、当第1四半期の営業成績は、以下のとおりとなりました。

	前第1四半期 (H25年3月～H25年5月)	当第1四半期 (H26年3月～H26年5月)	増減（金額）	増減（率）
営業収益	134,506百万円	140,481百万円	5,975百万円	4.4%
営業利益	7,184百万円	6,709百万円	△474百万円	△6.6%
経常利益	7,000百万円	6,784百万円	△216百万円	△3.1%
四半期純利益	4,157百万円	4,097百万円	△60百万円	△1.4%

営業成績の主な増減要因

①営業収益及び売上総利益

営業収益のうち、売上高は前年同期比5,786百万円（4.5%）増加し、133,928百万円となりました。この増加は、主に当社の既存店販売が堅調に推移したことに加え、前年度の下期における新設店舗の販売増が寄与したことによるものです。また、営業収入は前年同期比188百万円（3.0%）増加し、6,553百万円となりました。

売上総利益は、27,843百万円（前年同期比852百万円増）となりました。売上高対比では20.8%となり前年同期に比べて0.3ポイント低下しました。これは、消費税率引き上げ後の反動に伴う消費の落ち込みへの対策として価格対応を強化したほか、相対的に荒利率の低い食品を中心に品揃えした小商圏型店舗「ゆめマート」等の新設により食品の売上構成が高まったこと等によるものです。

②販売費及び一般管理費並びに営業利益

販売費及び一般管理費は、引き続き人的生産性の改善及びパート・アルバイトの活用による人件費の抑制に努めた一方、前年度の下期における新設店舗の負担が増加したことにより前年同期比1,515百万円の増加し、27,687百万円となりました。売上高対比では20.7%となり前年同期に比べて0.3ポイント上昇しました。

これらの結果、営業利益は前年同期比474百万円（6.6%）減少の6,709百万円となりました。売上高対比は5.0%と前年同期に比べて0.6ポイント低下しました。

③営業外損益及び経常利益

営業外収益は、持分法による投資利益287百万円等を計上し、前年同期比262百万円増加の605百万円となりました。一方、営業外費用は前年同期比4百万円増加の530百万円となりました。

これらの結果、経常利益は前年同期比216百万円（3.1%）減少の6,784百万円となりました。売上高対比は5.1%と前年同期に比べて0.4ポイント低下しました。

④特別損益、法人税等、少数株主利益及び四半期純利益

特別利益は21百万円となりました（前年同期比21百万円の増加）。一方、特別損失は固定資産除却損50百万円等を計上し101百万円となりました（前年同期比22百万円の減少）。

法人税等は2,566百万円となりました（前年同期比47百万円の減少）。

少数株主利益は40百万円となりました（前年同期比65百万円の減少）。

これらの結果、四半期純利益は前年同期比60百万円（1.4%）減少の4,097百万円となりました。売上高対比は3.1%と前年同期に比べて0.1ポイント低下しました。

各セグメントの業績

■営業収益

	前第1四半期 (H25年3月～H25年5月)	当第1四半期 (H26年3月～H26年5月)	増減（金額）	増減（率）
小売事業	133,996百万円	140,948百万円	6,952百万円	5.2%
小売周辺事業	7,816百万円	7,420百万円	△396百万円	△5.1%
その他	1,259百万円	1,237百万円	△21百万円	△1.7%
調整額	△8,566百万円	△9,125百万円	△559百万円	—
合計	134,506百万円	140,481百万円	5,975百万円	4.4%

■営業利益

	前第1四半期 (H25年3月～H25年5月)	当第1四半期 (H26年3月～H26年5月)	増減（金額）	増減（率）
小売事業	6,140百万円	5,642百万円	△497百万円	△8.1%
小売周辺事業	755百万円	977百万円	222百万円	29.4%
その他	164百万円	137百万円	△26百万円	△16.2%
調整額	124百万円	△48百万円	△172百万円	—
合計	7,184百万円	6,709百万円	△474百万円	△6.6%

①小売事業

当社グループのコアビジネスである小売事業では、高品質な商品に値ごろ感を出し、また、低価格でありながらより品質の良い商品を提供することで二極化した消費行動に対応する“いいものを安く”にさらに磨きをかけてきました。市場特性に応じて、投入商品や価格設定を見直すとともに、プライベートブランド商品など競争力ある品揃えの充実に努めました。また、週単位で地域性や生活歳時による販売動向の仮説を立て重点販売商品を投入し続けていく取り組みについてもさらに強化し、ショッピングの楽しさを演出するとともに、常に鮮度の高い売場を維持することで集客を図り、販売増加に繋げました。

既存店の活性化を積極的に実施し、食品などの直営売場を拡張し品揃えを強化するとともに有力テナントへの入れ替えを推進することで店舗競争力を強化しました。4月には旗艦店である「ゆめタウン広島（広島市南区）」で最大規模のリニューアルを行いました。キッズエリアを集約しフードコートを拡大したことで、家族三世代でのお買い物がさらに便利となったほか、当社出店エリア初出店となる話題のテナントを導入したことなどが奏功し、販売は好調に推移しています。また、新規出店では3月には小商圈型店舗「ゆめマート松橋（熊本県宇城市）」を新設し、出店エリアのドミナント化の更なる進展を図りました。

これらの取り組みに対して販売動向は、消費税率引き上げに伴う駆け込み消費及びその後の反動により、個人消費は弱含んだことで不安定に推移しました。3月には増税前のまとめ買い需要を取り込み、加工食品、日用品や実用衣料などの販売が大きく盛り上がりを見せました。その後、反動による落ち込みに対しては生鮮品等の旬な商品、新製品の投入等の諸施策を積極的に展開することで、当社の既存店売上高は5月にはプラスに転じ、当第1四半期の前年同期比で

は2.8%増となりました。

コスト面では、引き続き人的生産性の改善による労働時間の削減やパート・アルバイトの活用による人件費の抑制を図るとともに諸経費全般について費用対効果を見定めた節減を図った一方、前年度の下期における当社の新設店舗や既存店活性化の負担が増加しました。

これらの結果、営業収益は140,948百万円（前年同期比5.2%増）、営業利益は5,642百万円（前年同期比8.1%減）となりました。

②小売周辺事業

小売周辺事業では、一部の業務において他セグメントとのグループ間取引の条件を見直した一方、引き続きショッピング時のクレジット利用推進や電子マネー「ゆめか」の利用拡大を推し進め、新規会員の獲得に努めました（「ゆめか」の発行枚数は、前期末350万枚、第1四半期末376万枚）。また、地域との連携、スポーツを通じた地域貢献に努めるべく地域限定の「ゆめか」なども好評を得、地域通貨としての地位を確立していくとともにキャッシュレス決済の推進によるお客様の利便性向上、レジ会計業務の生産性改善に成果を上げました。これらの取り組みを通じて、外部加盟店よりの取扱手数料収入の拡大に加え、小売事業への集客力向上にも寄与しました。

これらの結果、営業収益は7,420百万円（前年同期比5.1%減）、営業利益は977百万円（前年同期比29.4%増）となりました。

③その他

卸売業務では、急激な円安による影響は一巡した一方、販売が伸び悩み利益水準は低下しました。また、不動産賃貸業務では、安定した賃料収入を計上しつつ、諸経費の節減に努めました。

これらの結果、営業収益は1,237百万円（前期比1.7%減）、営業利益は137百万円（前期比16.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期末における資産、負債及び純資産の残高、前期末対比の増減額及び主な増減理由は以下のとおりです。

	前期末 (H26年2月28日)	当第1四半期末 (H26年5月31日)	増減
総資産	397,071百万円	406,022百万円	8,951百万円
負債	266,892百万円	273,371百万円	6,478百万円
純資産	130,178百万円	132,651百万円	2,472百万円

総資産

- ・当第1四半期の設備投資額は4,315百万円であり、これは主に店舗新設等によるものです。その結果、有形固定資産は、減価償却実施後で1,545百万円増加しました。
- ・受取手形及び売掛金は、クレジット取扱高の増加等により、3,346百万円増加しました。

負債

- ・支払手形及び買掛金は、販売増に伴う仕入れの増加に加え、期末日が銀行休業日であったこと等で16,601百万円増加しました。
- ・未払法人税等は、当第1四半期中の納付により、3,080百万円減少しました。
- ・短期借入金及び長期借入金は、12,540百万円減少しました。

純資産

- ・利益剰余金は、配当支出により減少したものの、内部留保額の上積みにより2,444百万円増加しました。
- ・これらの結果、自己資本比率は30.2%となり、前期末の30.3%に比べて0.1ポイント低下しました。

②キャッシュフローの状況

当第1四半期におけるキャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

	前第1四半期 (H25年3月～H25年5月)	当第1四半期 (H26年3月～H26年5月)	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,608百万円	23,135百万円	19,526百万円
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,312百万円	△5,490百万円	△178百万円
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,125百万円	△14,230百万円	△16,356百万円

営業活動によるキャッシュ・フロー

- ・主な収入項目は、税金等調整前四半期純利益6,704百万円、減価償却費3,122百万円、仕入債務の増加額16,601百万円です。
- ・主な支出項目は、法人税等の支払額5,164百万円、売上債権の増加額3,346百万円です。
- ・営業活動によるキャッシュ・フローは、前第1四半期と比較すると19,526百万円増加しました。これは主に、期末日が銀行休業日であったために仕入債務等の資金決済が翌月初に持ち越されたこと等で仕入債務の増加額が前第1四半期に比べて増加したことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フロー

- ・主な支出項目は、有形固定資産の取得による支出4,657百万円です。これは主に、前期における新設店舗に係る設備未払金の決済や今後の店舗新設等によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フロー

- ・主な収入項目は、長期借入金による収入6,700百万円です。
- ・主な支出項目は、短期借入金の純増減額14,828百万円、長期借入金の返済4,412百万円及び配当金の支払額1,652百万円です。

以上の結果、現金及び現金同等物の残高は、前期末対比3,413百万円増加し、10,213百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の連結業績予想について、現時点においては平成26年4月7日公表の予想数値に変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,800	10,213
受取手形及び売掛金	25,482	28,829
商品及び製品	24,125	24,252
仕掛品	84	30
原材料及び貯蔵品	319	369
その他	14,718	14,934
貸倒引当金	△635	△637
流動資産合計	70,895	77,992
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	133,474	132,798
土地	141,011	141,082
その他（純額）	9,547	11,698
有形固定資産合計	284,033	285,579
無形固定資産	7,418	7,306
投資その他の資産		
その他	35,142	35,561
貸倒引当金	△419	△418
投資その他の資産合計	34,723	35,143
固定資産合計	326,175	328,029
資産合計	397,071	406,022
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,191	39,793
短期借入金	46,726	31,898
1年内返済予定の長期借入金	23,249	23,747
未払法人税等	5,287	2,207
賞与引当金	1,451	2,595
役員賞与引当金	47	10
ポイント引当金	1,817	1,923
商品券回収損失引当金	53	53
資産除去債務	335	66
その他	21,653	26,233
流動負債合計	123,813	128,530
固定負債		
長期借入金	103,471	105,261
退職給付引当金	6,540	6,582
役員退職慰労引当金	1,241	1,251
利息返還損失引当金	329	306
資産除去債務	6,501	6,530
その他	24,994	24,908
固定負債合計	143,079	144,841
負債合計	266,892	273,371

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,613	19,613
資本剰余金	22,282	22,282
利益剰余金	94,517	96,962
自己株式	△16,760	△16,760
株主資本合計	119,652	122,097
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	822	910
為替換算調整勘定	△264	△264
その他の包括利益累計額合計	558	645
少数株主持分	9,966	9,907
純資産合計	130,178	132,651
負債純資産合計	397,071	406,022

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)
売上高	128,141	133,928
売上原価	101,150	106,084
売上総利益	26,991	27,843
営業収入	6,364	6,553
営業総利益	33,355	34,396
販売費及び一般管理費	26,171	27,687
営業利益	7,184	6,709
営業外収益		
受取利息	35	36
仕入割引	104	80
持分法による投資利益	0	287
その他	202	201
営業外収益合計	343	605
営業外費用		
支払利息	426	420
その他	99	109
営業外費用合計	526	530
経常利益	7,000	6,784
特別利益		
固定資産売却益	0	1
負ののれん発生益	—	19
特別利益合計	0	21
特別損失		
固定資産売却損	—	41
固定資産除却損	116	50
その他	7	9
特別損失合計	123	101
税金等調整前四半期純利益	6,877	6,704
法人税、住民税及び事業税	2,159	2,155
法人税等調整額	454	411
法人税等合計	2,614	2,566
少数株主損益調整前四半期純利益	4,263	4,138
少数株主利益	105	40
四半期純利益	4,157	4,097

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,263	4,138
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	169	46
為替換算調整勘定	8	△0
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△2
その他の包括利益合計	178	43
四半期包括利益	4,442	4,181
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,308	4,185
少数株主に係る四半期包括利益	133	△3

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,877	6,704
減価償却費	3,023	3,122
のれん償却額	28	28
負ののれん発生益	—	△19
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△12	1
受取利息及び受取配当金	△57	△53
支払利息	426	420
持分法による投資損益(△は益)	△0	△287
固定資産売却損益(△は益)	△0	39
固定資産除却損	116	50
売上債権の増減額(△は増加)	△2,678	△3,346
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,786	△122
仕入債務の増減額(△は減少)	3,414	16,601
その他	1,162	5,370
小計	10,515	28,510
利息及び配当金の受取額	57	59
利息の支払額	△361	△270
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△6,602	△5,164
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,608	23,135
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,080	△4,657
有形固定資産の売却による収入	0	39
無形固定資産の取得による支出	△252	△162
投資有価証券の取得による支出	△109	△300
短期貸付金の増減額(△は増加)	△67	△219
その他	196	△191
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,312	△5,490
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	10,550	△14,828
長期借入れによる収入	—	6,700
長期借入金の返済による支出	△4,356	△4,412
自己株式の取得による支出	△2,542	△0
配当金の支払額	△1,497	△1,652
少数株主への配当金の支払額	△20	△28
その他	△8	△8
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,125	△14,230
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	422	3,413
現金及び現金同等物の期首残高	6,862	6,800
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,284	10,213

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年5月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	計	調整額 (注2)	四半期連結 財務諸表 計上額 (注3)
	小売事業	小売周辺 事業	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	129,293	4,334	133,627	878	134,506	—	134,506
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	4,703	3,481	8,184	381	8,566	△8,566	—
計	133,996	7,816	141,812	1,259	143,072	△8,566	134,506
セグメント利益	6,140	755	6,895	164	7,060	124	7,184

(注1) 「その他」の区分は、衣料品などの卸売事業等を含んでいます。

(注2) セグメント利益の調整額 124百万円は、セグメント間の未実現利益の調整額等を含んでいます。

(注3) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年5月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	計	調整額 (注2)	四半期連結 財務諸表 計上額 (注3)
	小売事業	小売周辺 事業	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	136,198	3,450	139,649	832	140,481	—	140,481
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	4,750	3,969	8,719	405	9,125	△9,125	—
計	140,948	7,420	148,368	1,237	149,606	△9,125	140,481
セグメント利益	5,642	977	6,620	137	6,758	△48	6,709

(注1) 「その他」の区分は、衣料品などの卸売事業等を含んでいます。

(注2) セグメント利益の調整額 △48百万円は、セグメント間の未実現利益の調整額等を含んでいます。

(注3) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。